

7 川 港 整 第 6 3 号
令和 0 8 年 0 1 月 1 4 日

国土交通大臣 殿

川崎市長

社会資本総合整備計画について

「社会資本整備総合交付金に係る計画等について」第1第1項に基づき、別添のとおり社会資本総合整備計画を取りまとめたので提出する。

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和07年12月17日

計画の名称	川崎港におけるカーボンニュートラルな社会の形成と物流ネットワークを支える港づくり												
計画の期間	令和08年度 ~ 令和12年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	川崎市												
計画の目標	臨港道路の整備によりロジスティクス機能の強化に取組み、川崎港におけるカーボンニュートラルに資する水素等供給拠点や港湾物流拠点の形成を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	850	A	850	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R8当初)	中間目標値 (R10末)	最終目標値 (R12末)
1	港湾施設から幹線道路へのアクセス路線となる臨港道路の整備により、カーボンニュートラル貨物である液化水素等の年間取扱量を増加させる。 カーボンニュートラル貨物である液化水素等の年間取扱量	0千t	0千t	2千t

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事前評価チェックシート

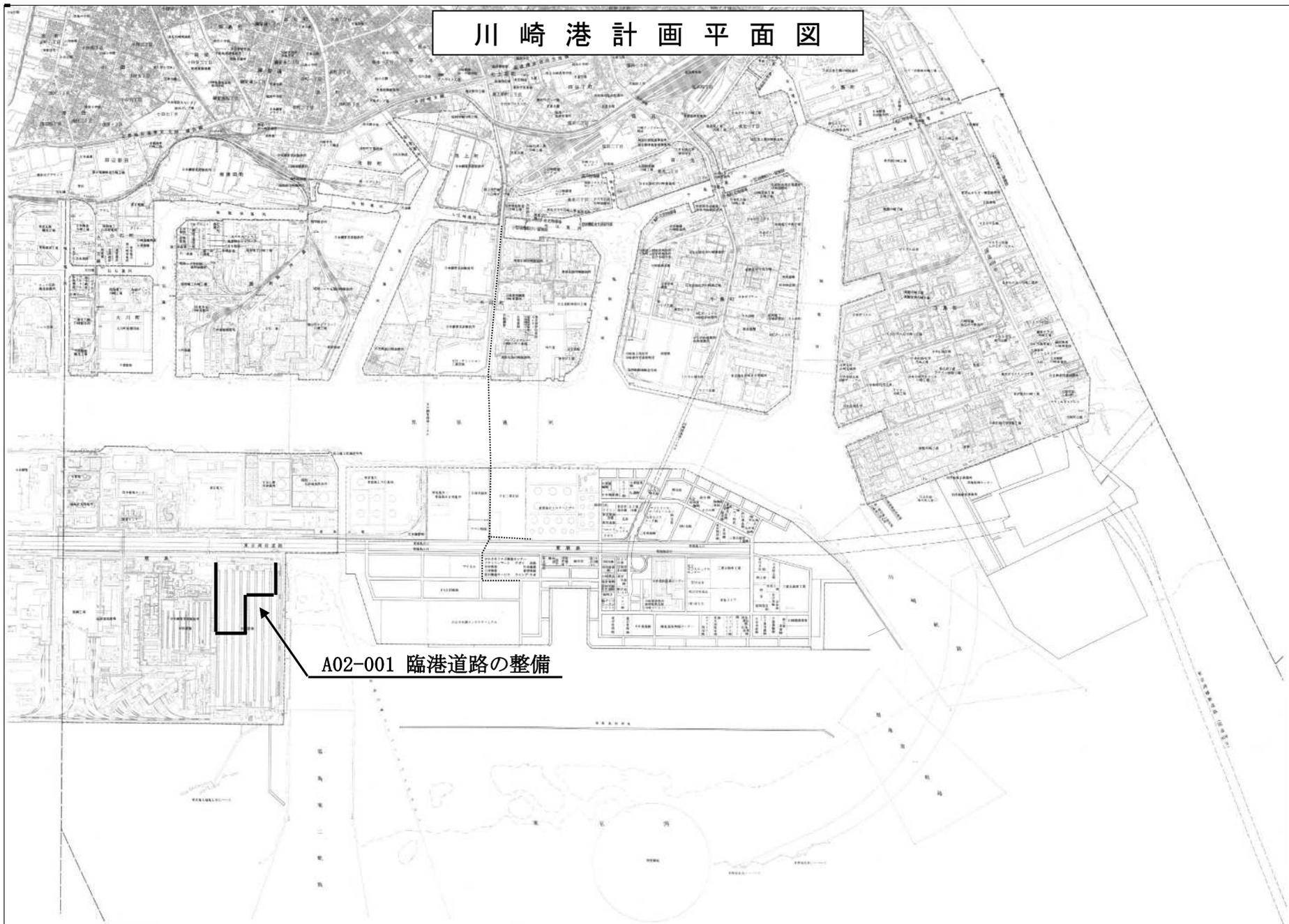
計画の名称： 川崎港におけるカーボンニュートラルな社会の形成と物流ネットワークを支える港づくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が基本方針等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
I. 目標の妥当性 現状調査が適切に行われている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施のための調整が図られている。	○

(参考様式) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	川崎港におけるカーボンニュートラルな社会の形成と物流ネットワークを支える港づくり (重点計画)		
計画の期間	令和8年度 ~ 令和12年度 (5年間)	交付対象	神奈川県川崎市

川崎港計画平面図



A02-001 臨港道路の整備